



2024年9月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東
コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩瀬 桂太 TEL 03(5339)8680
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績 (2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	5,940	7.5	524	△23.2	516	△31.3	275	△42.3
2023年9月期第3四半期	5,527	4.8	682	△15.3	751	△24.5	477	△22.6

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 262百万円 (△44.2%) 2023年9月期第3四半期 471百万円 (△20.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	43.89	-
2023年9月期第3四半期	76.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第3四半期	11,393	5,886	51.7	937.80
2023年9月期	11,094	5,780	52.1	920.93

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 5,886百万円 2023年9月期 5,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期 (予想)	-	-	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	11.2	730	△7.8	720	△20.8	430	△26.6	68.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	6,967,200株	2023年9月期	6,967,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	690,369株	2023年9月期	690,369株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	6,276,831株	2023年9月期3Q	6,276,831株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会の開催及び決算資料の入手方法について）

当社は、2024年8月14日（水）に機関投資家・アナリスト向けのオンライン決算説明会をWEB会議システムを用いて実施する予定です。当日使用する決算補足説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ（<https://www.interspace.ne.jp/ir/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当四半期の経営成績の概況	1
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の持ち直しに足踏みが見られたものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続きました。一方で、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れとなる要因も見られました。引き続き、物価上昇、中東地域をめぐる情勢および金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があると、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属するインターネット広告市場は、継続的な成長が見込まれ、2024年のインターネット広告媒体費は前年比8.4%増の2兆9,124億円まで拡大することが予想されております(株式会社CARTA COMMUNICATIONS・株式会社電通・株式会社電通デジタル・株式会社セブテニ調べ)。このような事業環境において、当社グループは「比較・検討メディアへの投資推進」「海外アフィリエイトへの投資と収益モデルの展開」「マーケティングソリューション分野への投資とアフィリエイトの生産性向上」に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は5,940百万円(前年同四半期比7.5%増)、営業利益は524百万円(前年同四半期比23.2%減)、経常利益は516百万円(前年同四半期比31.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は275百万円(前年同四半期比42.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「インターネット広告」としていたセグメント名称を「パフォーマンスマーケティング」に変更しております。また、「メディア運営」としていたセグメント名称を「メディア」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

<パフォーマンスマーケティング>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを軸に事業を展開しております。主力の「アクセストレード」においては、金融分野を中心に堅調に推移いたしました。また、海外事業では、現地メディアパートナーの新規開拓に注力し、登録メディアパートナー数が200万を突破いたしました。今後も、日本国内および東南アジアでのアフィリエイト広告市場の拡大と、成長投資を積極的に行ってまいります。さらに、店舗向けDXソリューション「モバイルウインドウ」においては、継続課金型サービスの販売チャネル拡大を図ったほか、「ダレカナブロック」などの自社プロダクトの新規会員獲得が順調に進み、会員数は大幅に増加しております。

これらの結果、当事業の売上高は3,710百万円(前年同四半期比7.1%増)、セグメント利益は354百万円(前年同四半期比21.4%減)となりました。

<メディア>

当事業は、ママの情報プラットフォーム「ママスタ」を軸に事業を展開しております。主力の「ママスタ」においては、記事コンテンツの充実を図ったことでサイト回遊率は上昇し、閲覧数も増加いたしました。また、連結子会社の4MEEE株式会社が運営するヘルスケアアプリ「4MOON」では、Femtech領域での取り組みが評価され、「2024 WOMAN's VALUE AWARD~Femtech~」ジェンダー・イノベーション部門で「最優秀賞」を受賞いたしました。さらに、連結子会社の株式会社ユナイトプロジェクトが運営する「塾シル」においては、掲載教室数の拡大に注力したことに加え、サイト検索順位の向上に向けた施策の実施により、獲得数に影響するキーワードの上位表示は順調に増加しております。今後も、比較検討型メディアに対して積極的に成長投資を行ってまいります。

これらの結果、当事業の売上高は2,229百万円(前年同四半期比8.1%増)、セグメント利益は170百万円(前年同四半期比26.5%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,639百万円となり、前連結会計年度末に比べ300百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が275百万円、売掛金及び契約資産が53百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が14百万円、無形固定資産が23百万円増加した一方で、投資その他の資産が38百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は11,393百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加いたしました。これは主に買掛金が105百万円、その他が169百万円増加した一方で、未払法人税等が18百万円、賞与引当金が61百万円減少したことによるものであります。固定負債は63百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は5,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益275百万円および剰余金の配当156百万円により、利益剰余金が118百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.7%（前連結会計年度末は52.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月7日の「2024年9月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,631,668	5,907,127
売掛金及び契約資産	3,505,751	3,559,359
その他	208,634	180,336
貸倒引当金	△6,889	△7,614
流動資産合計	9,339,164	9,639,208
固定資産		
有形固定資産	174,974	189,771
無形固定資産		
のれん	128,961	107,468
その他	456,110	500,679
無形固定資産合計	585,071	608,148
投資その他の資産		
その他	997,055	956,800
貸倒引当金	△2,222	△816
投資その他の資産合計	994,833	955,984
固定資産合計	1,754,879	1,753,903
資産合計	11,094,044	11,393,112
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,581,990	4,687,411
未払法人税等	73,953	55,177
賞与引当金	173,034	111,221
役員賞与引当金	—	3,975
その他	415,526	585,128
流動負債合計	5,244,504	5,442,915
固定負債		
その他	69,019	63,767
固定負債合計	69,019	63,767
負債合計	5,313,524	5,506,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	4,650,719	4,769,271
自己株式	△626,270	△626,270
株主資本合計	5,734,103	5,852,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,233	26,103
為替換算調整勘定	17,182	7,670
その他の包括利益累計額合計	46,416	33,773
純資産合計	5,780,519	5,886,429
負債純資産合計	11,094,044	11,393,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,527,271	5,940,199
売上原価	990,070	1,152,896
売上総利益	4,537,200	4,787,302
販売費及び一般管理費	3,854,568	4,262,775
営業利益	682,632	524,527
営業外収益		
為替差益	17,924	—
持分法による投資利益	53,175	—
受取手数料	—	11,015
開発負担金収入	—	5,500
その他	8,186	1,714
営業外収益合計	79,286	18,229
営業外費用		
投資事業組合運用損	6,326	17,797
その他	3,608	8,325
営業外費用合計	9,934	26,123
経常利益	751,984	516,633
税金等調整前四半期純利益	751,984	516,633
法人税、住民税及び事業税	206,621	194,614
法人税等調整額	67,780	46,545
法人税等合計	274,402	241,160
四半期純利益	477,582	275,472
親会社株主に帰属する四半期純利益	477,582	275,472

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	477,582	275,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,633	△3,129
為替換算調整勘定	△15,087	△17,365
持分法適用会社に対する持分相当額	4,880	7,852
その他の包括利益合計	△6,573	△12,642
四半期包括利益	471,008	262,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,008	262,830

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パフォーマンス マーケティング	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,464,031	1,312,579	4,776,610	750,660	5,527,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	285	750,660	750,945	△750,945	—
計	3,464,316	2,063,240	5,527,556	△285	5,527,271
セグメント利益	450,743	231,888	682,632	—	682,632

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、四半期連結損益計算書上は本人として処理される取引であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「パフォーマンスマーケティング」セグメントにおいて、2023年4月3日付で、連結子会社である株式会社N1テクノロジーズ(旧株式会社電脳広告社)が株式会社tactの事業の一部を吸収分割により取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、前第3四半期連結累計期間においては143,290千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パフォーマンス マーケティング	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,710,767	1,342,672	5,053,440	886,759	5,940,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107	886,759	886,866	△886,866	—
計	3,710,874	2,229,432	5,940,307	△107	5,940,199
セグメント利益	354,086	170,440	524,527	—	524,527

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、四半期連結損益計算書上は本人として処理される取引であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「インターネット広告」としていたセグメント名称を「パフォーマンスマーケティング」に変更しております。また、「メディア運営」としていたセグメント名称を「メディア」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	156,482千円	183,602千円
のれんの償却額	7,164	21,493